

H30 年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団 紀洋会	代表者	岡本 のぶ子	法人・事業所の特徴	<p>篠山市で百寿の郷を開設して、10周年を迎えた。田舎の田んぼの中に建っているが、見晴らしや日当たり、風通しも良く見学に来られた方も「気持ちの良い施設ですね」と言ってくれる。</p> <p>百寿の郷の一番の特徴は、畑を活用し野菜を育て収穫し食材として調理に利用することで、利用者の日課としての役割や、収穫の喜び、食事の楽しみをいろんな方に経験してもらう取り組みを行っていることである。また、個別ケアにも力を入れ、本人の想いを聞きとり、家族・ケアマネジャーとも連携して、身体の維持向上を図りながら実現に向けて取り組んでいる。同敷地内にあるデイサービスとグループホームの3事業所合同で、地域ふれあい祭り「福が百さくまつり」を開催し、また3事業所合同の職員研修も行っている。この研修も地域の方が参加できる研修になっており、法人理念である「地域に根ざした介護事業所」を目指し、地域に開かれた事業所づくりに率先して取り組んでいる。</p> <p>百寿の郷は、地域の中高生とのボランティア活動の受け入れなどの交流も図り、また自治会や民生委員、介護相談員の方にも小規模多機能型居宅介護を理解してもらえるように積極的に活動している。</p>
事業所名	小規模多機能型居宅介護 百寿の郷	管理者	濱崎美香		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	3人	1人	0人	1人	1人	0人	3人	0人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の「何がしたい」、「当面の目標」「本人の想い」「声にならない声」を言語化し、文字にして貼りだし「見える化」することで職員が情報を共有できるようになったので今後も引き続き実施する。また、貼りだすことを定着していく。</li> <li>・市の事務連絡会、地区福祉会議、県の集団指導、研修会等の参加で「地域連絡会」とみなされるそうなので、所長だけでなく職員も参加していく。また、情報共有し職員全員が関わりを持っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者一人一人について職員が気付いたことを文字にして張り出し見える化を図ってきたが、段々意識が薄れ定着出来なかった。</li> <li>・職員が参加する地域連絡会はなかったが、所長が参加し情報共有できた。</li> </ul>	<p>外面的な面しか分からないサービス利用の相談があってから、開始になるまでの間家族からアクションがあるのか。</p> <p>「できている」「できていない」の判断基準はあるのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も引き続き利用者に対しての「声にならない声」「目標」「想い」を言語化して張り出し、見える化を図る。常に意識を持ち勤務毎に振り返りをして定着できるように全職員で声かけしていく。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ環境		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方からソファや本棚を頂き、利用者の休憩スペースの確保や自分で自由に読んだり見たりできるような本棚の配置をした。</li> </ul>	<p>かわいい飾りがしてある。</p>	
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度も引き続き地域に出向いての行事企画をしていく。また、所長だけでなくスタッフが地域との橋渡しや仲介役になり企画をして進めて行けるように役割を作っていく、担当に任せていく。</li> <li>・地域のイベントや行事に参加した際、展示もさせて頂き、作品だけでなく「百寿の郷」を知ってもらえるようなものを作っていく。行事年間計画の中に展示に向けての作品作りを盛り込む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は職員の確保も難しく地域のイベント参加は出来なかった（城東味覚祭り・畑地区収穫祭・東中学校文化祭等）。しかし毎月の行事で地域主催のイベントに参加できるように企画できた（チルドレンミュージアム・ひな祭り見学等）。</li> <li>・地域職員が地域住民や子供会等の方との仲介役になりボランティア参加やイベント参加の橋渡し役になり取り組めた。</li> </ul>	<p>地域行事の年間計画はもっているのか。</p> <p>地域の拠点というが、どこまで対応できるのか。業務外のこともしないといけないと大変ではないか。</p> <p>情報を知りたいとか目的がないと気軽には行きにくい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方が気軽に立ち寄れる様に、地域の方が参加できるイベントや研修会等企画し、事業所の雰囲気や利用者の様子など見て頂く機会を作り、立ち寄りやすくしていく。</li> </ul>

<p>D. 地域に向向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族参加型の行事を行う。「6月…3事業所感謝祭・12月…クリスマス会」。</li> <li>・家族会を1回は行う（8月）</li> <li>・百寿での食事がどんなものなのか見てもらえるような企画をする（家族・地域の方・CM・運営推進委員・介護相談員・民生委員に向けて）</li> <li>・食事も分かりやすいように広報で載せていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族会 11月に開催。</li> <li>・広報に食事の写真を載せるようにした。見やすくわかりやすくとても良いと家族から好評。</li> <li>・地域住民や民生委員、ケアマネ、介護相談員等に向けての食事企画は出来なかった。</li> </ul>	<p>地域ケア会議は開いているか。 行きつけの買い物先の人も会議に呼んでもよいのではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度も百寿での食事がどんなものなのか見てもらえるような企画をする（地域の方・ケアマネジャー・運営推進委員・介護相談員・民生委員に向けて）</li> <li>・本人が住む地域へのイベントに本人が参加出来るように個別ケア等での企画をする。</li> <li>・地域ケア会議への参加者として幅広く関わりのある方のピックアップも検討していく。</li> </ul>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も運営推進会議で、利用者の事例検討や、他事業所の会議の内容を報告など年間計画に盛り込む。</li> <li>・運営推進会議で地域の独居利用者に対するの関わりも検討していけるよう、行事への参加や、音楽療法への参加など運営推進委員の方からも声掛けして頂けるよう情報を伝えていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の事例検討や、他事業所の運営会議報告は年間計画に入れていたが出来なかった。</li> <li>・地域の独居利用者への検討は個人情報等もあるのであまり触れなかった。自治会長からは、独居の方はいるが元気であると聞く。</li> </ul>	<p>意見なし</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議で、利用者の事例検討（訪問内容や認知症対応、個別ケア）等の話をもっと盛り込んでいく。</li> <li>・今後も音楽療法、防災訓練、研修等地域の方が参加して頂けるような企画をしていく。また委員の方、自治会長から地域の方へ声かけして頂くように依頼していく。</li> </ul>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議の後に防災訓練を行い見学して頂けるように計画する（8月・2月）</li> <li>・今後も地域の防災訓練に参加し協働を図れるように取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進委員の方に事業所の防災計画書に目を通してもらい意見を聞いた。</li> <li>・今年度台風での避難指示の際、地域の一時避難所として自治会長と連携を図った。今後はどのように連携を図っていくか具体的に話し合っていく。</li> </ul>	<p>例えばこんな人が泊まっている。何人泊まっているなど地域に伝え、だれがどんなふうにかかけつけられるかなど地域に要支援者を伝えておいてはどうか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議の後に防災訓練を行い見学して頂けるように計画する（9月・3月）</li> <li>・今後も地域の防災訓練に参加し、協働を図れるように取り組む。</li> </ul>